

AMUSEMENT SQUARE stage

最近エレベーターを降りてドアが開くと、ナイフで刺される夢を時々見る。いや、現実の生活の中でさえ、このエレベーターが開くと、乗り込もうとして来た人に刺されるのではないかとという妄想に駆られる時がある。疲れているのか？ いや、そうではない。現代の集団催眠とでもいうのであろうか、各地で起こっている事件に私の脳も同調しているのかもしれない。

「今、そこにある危機」というタイトルの作品が何かがあった様な気がするが、「演劇」という物を考えた時、何気なく過ごしている日常生活と隣り合わせにある、危機・恐怖を考えずにはいられない。人が死んでいく場面のある芝居を非日常と考えるか、人の死んでいく場面のない芝居を非日常と考えるかは好みであり、その人のセンスの問題になるのである。

が、例えば死んでいく場面が直接的にはなくとも、存在として失われていく瞬間はいくらでも存在するのである。またその逆に、死んでいく場面の中でも、存在が確立されていく瞬間もいくらでも存在するのではないだろうか。

そういう意味からも、寺山修司が行っていた作業に、今更ながら驚かされ、今一度「演劇」というものを見つめ直してみたいと思っている。

今年7月19日に、三内丸山遺跡

の特設会場において、青森県文化観光立県宣言が行われる。各地の郷土芸能として、八戸からは虎舞田子からは田子神楽、南部町からはナニヤドラが派遣される。その他各地から様々な郷土芸能が集まり、それぞれの持ち時間の中で披露される予定である。

その他にもカウントダウンイベント、歴史の灯起しとリレー（聖火リレーとまではいかないが）と色々な催し物が計画されている。

一部には、「住みよい街づくり」「福祉の充実」が先ではないのかという声もあるが、青森県の活性化の一つの突破口として期待したい。

更に八戸市は来年で市制七十年を迎える。今年の青森市市制百周年に勝るとも劣らない、いや、それを遙かに超える発信性を持ったイベントにしたいものである。

FANSも5年目に入り、今一つの計画をしている。

「プロジェクト・ノーヴェンヴァー」に参加し、東京公演も見据えながら少し各地を廻ってみたいと思っている。このプロジェクトは、弘前劇場が核となって動いて

いるものであり、当然練習は浪岡方面となり週末しか練習には参加できないが、秋口に行う各地公演と一緒に臨んでみる予定である。その後、どういう形で実現できるかは分からないが、イージーシアター我楽多屋の主宰であり脚本家である長尾広海を中心として、年度内には東京公演を実現させたいと思っている。

とにかく、南部八戸地方の芝居が持っている能力と文化を否定し脱皮するという意味ではなく、今までやってきた事の意義を検証するためにも、新たな手法の展開を求めて行かなければ、頭打ちになってしまうのではないだろうか。

私今年37才、一緒にやってみたい若い世代が出てくる事を期待しています。

FANSでは、脚本を書いてみたい人、何かを表現したい人、何かを一緒に作りあげてみたい人などを幅広く募集しています。おもしろいことに興味のあるあなた、一度「スペースベン」にお立ち寄り下さい。

演劇空間スペースベン

今年もど…、おっけいなら

△文／スペースベン代表・田中勉▽

番組変更の場合もありますので、内容についてはデリーー東北の「あすのメモ」「きょうのメモ」欄でご確認ください。

6月の Friday Amusement Negative Shop

富沢知成 吟遊イソジン・3回ライブ (12日・19日・26日)

熱が上がっても、腰が痛くなっても、歌はうたえるが、ノドを赤く腫らしてしまっても、もうどうしようもない。そこで季節に関係なく、イソジンのうがい薬、あるいはノドヌール・スプレー、軽度の場合は南天のど飴、お世話になります。歌手のコガネザワ君が使っていたのは、何だったっけか。不器用なもので、ノドヌールの「シュッシュュッ」の3回が、どうもテンコに命中しない。ついつい回数が多くなるが、甘くて美味しいので、まんざらでもない。そんなわけで、今回は3週連続で演じます。飴玉なめながら、勝手ながら今回も全曲オリジナルで。③本企画は、弾き語り漫談ではありません。(文／富沢知成)

番外編

●13日(土)
劇団雪姫第16回公演
「逃亡者たちの家」
午後7時開演
一般¥1300(当日¥1500)
学生¥1000(当日共)

劇団ショーマの主宰者高橋いさを氏の作品。男優中心の作品を女優群の多い雪姫ならではのキャストと脚色でお送りする舞台。弘前・盛岡・五所川原・青森公演に加えて、八戸ではここスペース・ベンで開催。

■5日「イーグルフェロモンライブ」

出演／イーグルフェロモン

■19日 第2回「吟遊主人の日」

歌・ギター／富沢知成
曲目／浮気ナドシテイナイという歌、ワンちゃんも家族の一員だという歌、赤ちゃんにちはの歌、ムムムな歌、etc。
※父の日先行イベントとして開催。

■12日 第1回「吟遊理不尽の日」

歌・ギター／富沢知成
曲目／東京夜空を仰ぎつつ詠める歌、自分に対して苛立ち日記の歌、戦争という理不尽な熱病の歌、etc。
※頭にくるぜ、お尻にくるぜ、が御題です。

■26日 第3回「吟遊酔人の日」

歌・ギター／富沢知成
曲目／エビスビールの歌、スコッチウイスキーの歌、チョコレート歌、仙台市にある「はんだ屋」という名の飯屋の歌、etc。

※全7午後7時30～、料金500円。

駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。(近くは西町書店駐車場有り)
園スペースベン 八戸市柏崎1丁目11-8 ☎&FAX43-9876

